

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	宮崎県
-------	-----

I 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	宮崎市立住吉中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数 32
学級数	5	5	5	1	16	
生徒数	174	188	198	1	560	

II 研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身につけ、主体的に学習する生徒の育成  
～基礎学力の定着を図るとともに、個に応じた学習指導の工夫改善を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

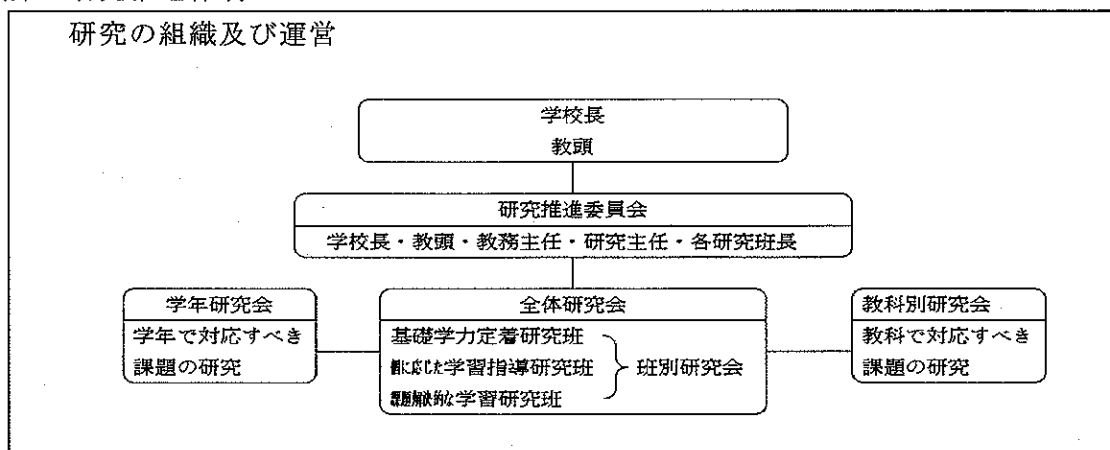
全学年・全教科  
確かな学力を身につけさせるには、すべての教員が共通認識のもと、研究を進めていく方が効果的であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年 度	○ 研究の目標
	ア 基礎学力や学ぶ習慣を身につけた生徒の育成 イ 各教科等の基礎・基本を確実に身につけた生徒の育成 ウ 学びの意欲が高く、自ら学び、自ら考える生徒の育成
	○ 研究の見通し(研究の仮説) 生徒が確かな学力を身につけるために、読む能力と書く能力を高めたり、家庭における学習の習慣化を図るとともに、個に応じた学習方法を工夫改善すれば、生徒がわかったり、できたりして、学習意欲が高まり、主体的に学習する生徒の姿を見ることができると見込んでいる。
平成 16 年 度	○ 研究の内容・方法
	ア 「確かな学力」の基盤となる読む能力、書く能力の向上と学習習慣の定着 イ 個に応じたきめ細かな学習指導の工夫改善 ウ 生徒が主体的に活動する場の設定と適切な評価
	○ 研究の見通し 平成15年度に同じ

平成 16 年 度	○ 研究の目標
	ア 基礎学力や学ぶ習慣を身につけた生徒の育成 イ 各教科等の基礎・基本を確実に身につけた生徒の育成 ウ 学びの意欲が高く、自ら学び、自ら考える生徒の育成
	○ 研究の見通し 平成15年度に同じ
平成 16 年 度	○ 研究の内容・方法
	ア 「確かな学力」の基盤となる読む能力、書く能力の向上と学習習慣の定着 イ 個に応じたきめ細かな学習指導の工夫改善 ウ 生徒が主体的に活動する場の設定と適切な評価
	○ 研究の見通し 基本的に平成15年度に同じであるが実践を積み重ねて結果を出す。

### (3) 研究推進体制



## III 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

### 1. 研究の成果

#### ア 読む能力，書く能力の向上と家庭学習の習慣化に関して

- ・ 全校で「漢字ライセンス」取得という共通の取り組みを行った。検定方式で小学校の漢字から，すべての生徒が合格するまで取り組んでいる。
- ・ 朝自習の時間を活用して読書に取り組んでいる。
- ・ 各教科で本時の学習内容に関して5～10分程度の宿題を必ず出すようにし，家庭学習の習慣化が図られるようになった。

#### イ 個に応じたきめ細かな学習指導の工夫改善に関して

- ・ 生徒の実態を把握するため各教科の取り組みに関するアンケートを実施した。アンケートより生徒は，授業に意欲的に取り組んだり，考えたりしているが，理解や知識の定着が十分でないと感じていることが明確になった。
- ・ 知識定着プリントの作成や理解を深める手だてをとるとともに，学習意欲の低い生徒や高い生徒へ配慮をした指導を継続して実践することができた。
- ・ 指導と評価間の整合性に配慮した。
- ・ 少人数指導においてグループ分けや指導法を工夫することができた。

#### ウ 生徒が主体的に活動する場の設定と適切な評価に関して

- ・ 住吉中学校における問題解決的な学習の段階として「つかむ・予想する」「やってみる」，「わかる・できる」，「深める」を設定した。
- ・ 「やってみる」段階で，生徒が主体的に活動する場を設けるようにした。
- ・ 問題解決的な学習の評価表を作成して，授業改善に取り組むことができた。
- ・ 特に総合的な学習の時間における問題解決的な学習で，表現力をつける活動を工夫できた。

## 2. 今後の課題

- ・ 第一に本年度は、研究の方向性が固まり、いくつかの実践もできたが、来年度は、これまで準備してきたことも含めて、多くの実践を積み重ねて成果を出していくこと。
- ・ 来年度は、本年度の研究の継続を主体にして、総合的な学習の時間における問題解決的な学習と各教科における問題解決的な学習の連携を明確にして、表現力や思考力、判断力を高めること。
- ・ 家庭学習を一層充実させること。

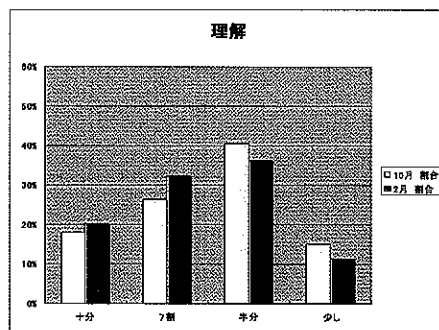
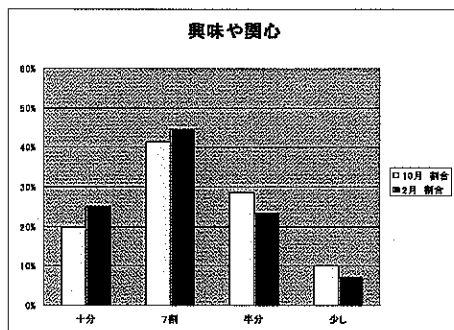
## IV 学力把握のための学校としての取り組み

各教科の取り組みに関するアンケート(生徒回答)

調査の目的・・・生徒による授業評価

実施内容・・・1教科1学年分の結果のみ下図参照

実施時期・・・平成15年10月、平成16年2月、5月(予定)、9月(予定)



## V フロントアスールとしての研究成果の普及

- ホームページへの掲載
- 知識定着プリント冊子の作成(住吉中学校版)(配布用)

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 ■ 15年度からの新規校 □ 14年度から継続校

【学校規模】 □ 3学級以下 □ 4～6学級  
□ 7～9学級 □ 10～12学級  
□ 13～15学級 ■ 16学級以上

【指導体制】 ■ 少人数指導 □ T・Tによる指導  
□ 一部教科担任制 □ その他

【研究教科】 ■ 国語 ■ 社会 ■ 数学 ■ 理科  
■ 外国語 ■ 音楽 ■ 美術 ■ 技術・家庭  
■ 保健体育 ■ その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■ 有 □ 無